

地域でSDGs!

地域の ESD 実践者と考える、SDGs に貢献する取り組み



国連が 2015 年に定めた「持続可能な開発目標 (SDGs)」は、世界の様々な諸課題に対して 17 の目標・ゴールを設定し、「誰も置き去りにしない (no one will be left behind)」を基本理念に、2030 年を達成年として課題解決を目指しています。「持続可能な開発のための教育」(ESD) は、そうした世界から地域まで多様に存在する社会の課題をそのつながりとともに理解し、解決に取り組む人を育む教育・学習です。関東 ESD センターでは、地域 ESD 活動推進拠点 (地域 ESD 拠点) とともに、ESD の取組・実践者を支援し、増やし、つながり、ともに SDGs に貢献する取り組みを推進しています。

今回のフォーラムでは、SDGs を、いかに自分事として捉え、地域や職場などで実践・行動するにはどうしたら良いか、どのような仕組みが必要なのか。地域 ESD 拠点・実践者をお招きし、皆で考える場にしたいと思いますので、是非ご参加ください。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030 年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

2018 年
12 月 22 日(土)
13:30~17:30

@東京ウィメンズプラザホール・視聴覚室
(東京都渋谷区神宮前 5 丁目 53-67)

- ・対象：SDGs、ESD にご関心のある教育、NPO、行政、企業、学生の方など
- ・定員：100 名 (無料・要申込)

【お問い合わせ先】

関東地方 ESD 活動支援センター 担当：伊藤、島田
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 B1F
TEL：03-6427-7975 FAX：03-6427-7976
kanto@kanto-esdcenter.jp <http://kanto.esdcenter.jp>

主催  関東地方 ESD 活動支援センター

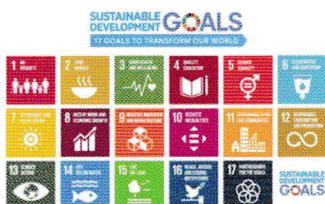
 関東地方環境事務所



■プログラム

13:30	挨拶	<環境省関東地方環境事務所> <関東地方 ESD 活動支援センター 企画運営委員長/都留文科大学社会学科 高田研教授>
13:40	趣旨説明	最近の ESD 等の動向 (関東地方 ESD 活動支援センター)
14:00	事例紹介	<p>1 : 地域を理解する、ジオパークと学校連携 地域の成り立ちを知り、活かす取組としてジオパークの活動があります。自然資源を活かし、持続可能な地域づくりを目指す活動で、ESD と関連性が高い活動を紹介します。 ・鈴木雄介氏 (伊豆半島ジオパーク推進協議会 専任研究員) <地域 ESD 拠点></p> <p>2 : 食品ロス・貧困解消に向け、地域全体を巻き込む 食品ロス解消に向けた取組が、各地で行なわれています。資源の無駄を減らせるだけでなく、貧困の対策、ゴミ削減、企業の社会的責任を果たすことなど、様々な課題の解決に有効な取組について考えます。 ・大野覚氏 (認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズ 事務局長) <地域 ESD 拠点> (NPO 法人 フードバンク茨城 理事長)</p> <p>3 : 「誰も置き去りにしない」教育に向け、地域と学校が連携 SDGs の達成のためには、それを担う人材育成 = 教育が必要であるとともに、経済的理由で十分な教育が受けられないことによる貧困の連鎖を断ち切るような教育も必要です。 ・松井晋作氏 (多摩大学 高大接続アクティブラーニング研究会 幹事)</p> <p>4 : 各主体を繋いで取組む、気候変動対策 地域の中で低炭素社会を実現していくために、企業・行政・NPO が連携して実施する、子どもたちへの環境教育、ライフスタイルを変えていく取り組みについて紹介します。 ・服部乃利子氏 (静岡県地球温暖化防止活動推進センターゼネラルマネジャー) <地域 ESD 拠点></p>
15:00	移動・休憩	
15:15	分科会	事例紹介①～④を、さらに深く掘り下げるワークショップを実施。
17:00	全体報告	分科会での議論を全体で共有します。
17:30	終了	

※18:00～19:30 隣接の地球環境パートナーシッププラザ (GEOC) にて、懇親会を実施 (参加費 : 1,000 円)



SDGs とは、国連が 2015 年に採択した「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

■お申込先 web : <http://kanto.esdcenter.jp> FAX : 03-6427-7976

お名前(フリガナ)		メール	
ご所属団体名			
ご希望の分科会	<input type="checkbox"/> ①ジオパーク <input type="checkbox"/> ②食品ロス <input type="checkbox"/> ③「誰も置き去りにしない」教育 <input type="checkbox"/> ④「気候変動対策」		
懇親会の御参加	参加する (参加費 1,000 円) ・ 参加しない →懇親会参加者名簿に記載 (可・不可)		
関心のあるテーマ・話題にしたいこと			
このイベントをどこで知りましたか	<input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> web <input type="checkbox"/> メールニュース (関東 ESD センター、GEOC) <input type="checkbox"/> 知人から <input type="checkbox"/> その他 ()		
メルマガ配信	関東地方 ESD 活動支援センターからのメールニュースを 希望します ・ 希望しません ・ 登録済み		